

2006 年度 小委員会活動成果報告

(20 年 月 日作成)

小委員会名	都市形成・計画史小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	主 査 名 : 就任年月 : 20 年 月
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	・本小委員会は 1999 年度に設立が認められ、活動を蓄積してきたが、新たな都市計画理論及び技術の展開にむけて史資料を収集し、課題を整理・公表していく予定である。具体的には上記のテーマに関心のある研究者・実務者などが情報交換し、成果を公表する。また、近年盛んになりつつある海外の計画史研究者との交流を活発にし、情報を発信する。委員構成や活動内容については、計画・デザイン系を主としつつ、建築計画や住宅経済・歴史系とも積極的な交流が図れるようにしたい。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無 : 宇杉和夫(日本大学)木多道宏(大阪大学)安田孝(摂南大学)諫見泰彦(九州産業大学) 加藤仁美(東海大学)越澤明(北海大学)佐々木日嘉里(花園大学)鈴木栄基(岩見沢市) 砂本文彦(広島国際大学)瀬口哲夫(名古屋市立大)千代章一郎(広島大学)中島直人 (東京大学)中野茂夫(筑波大)野中勝利(筑波大)三ツ江匡弘	
設置 WG (WG 名:目的)	都市計画史国際比較研究WG 都市形成・計画史の研究は国内・国外の各地の史資料の所在・保存状況の確認調査や情報交換により着実に基礎的条件を整備しつつ進める必要がある。そこで、小委員会活動を支援する作業グループを設置し、ヒヤリングやアンケート調査などにより情報収集と整理の活動を展開し、公表するために設置する。	
2006 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無:無委員会 HP アドレス:

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1 .(名称)第 17 回都市形成・計画史公開研究会 参加者数 100 名 「江戸空間・東京空間・江戸東京空間システム」9 月 6 日建築会館ホール (資料名)「江戸空間・東京空間・江戸東京空間システム」 2 .(名称)第 18 回都市形成・計画史公開研究会 参加者数 50 名 「居住地のアイデア/居住地の計画・形成の原形」12 月 20 日建築会館会議室 (資料名)「居住地のアイデア/居住地の計画・形成の原形」 3 .(名称)第 19 回都市形成・計画史公開研究会 予定参加者数 40 名 「開港都市の原風景と近代の空間システム」3 月 24 日神戸市立御影公会堂 (資料名)「開港都市の原風景と近代の空間システム」
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	催し物では目的を達成した。
委員会活動の問題点・課題	なし